

令和3年度の各専門部会の取組予定

「連携訓練専門部会」

「南海トラフ巨大地震対策計画専門部会」

「緊急輸送専門部会」

令和3年3月16日

緊急排水、道路啓開、航路啓開のオペレーション訓練

【目的】

- ✓ 南海トラフ巨大地震等を想定した広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え、中国地方の国自治体、防災関係機関が総合的な訓練を通じ相互の広域連携体制の強化を図る。

【背景】

- ✓ 緊急排水や道路啓開、航路啓開について個別の計画が策定されており、各活動における関係機関間の連携強化、情報共有を図り、より迅速で確実な啓開活動に繋がるよう総合的な訓練の実施が必要である。

【訓練メニュー】

- ✓ 緊急排水
- ✓ 道路啓開
- ✓ 航路啓開
- ✓ 道路・港湾施設管理者と道路・港湾施設利用者(自衛隊、警察、海運事業者、ライフライン事業者等)の情報共有

【今後の予定】

- ✓ 令和3年度
訓練内容の検討
- ✓ 令和4年度以降
図上訓練(DIG)の実施、実動訓練の実施



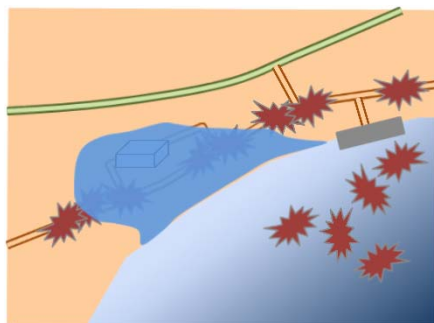
参考:国土交通省 四国地方整備局 四国南海トラフ地震対策戦略会議 合同演習(H27.5)

◆オペレーション訓練の概要

緊急排水・道路啓開・航路啓開の実施内容や関係機関の調整を模擬的に行う図上訓練を実施するために必要となる「緊急排水」、「航路啓開」の連携手順についても整理し、オペレーション訓練の内容について関係機関と調整、検討する。

訓練ステップ①の場面

- ・発災直後
(被災状況一部判明)

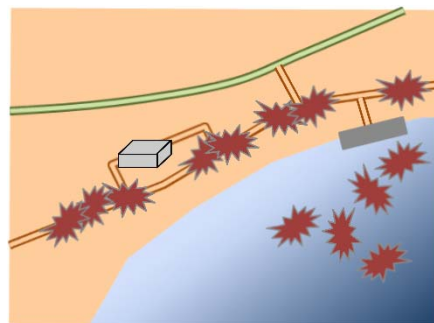


ステップ①の訓練内容

- ・被災状況の確認
- ・計画で決定されている排水手順を確認
- ・排水作業業者への指示

訓練ステップ②の場面

- ・排水作業完了
- ・道路啓開・航路啓開着手

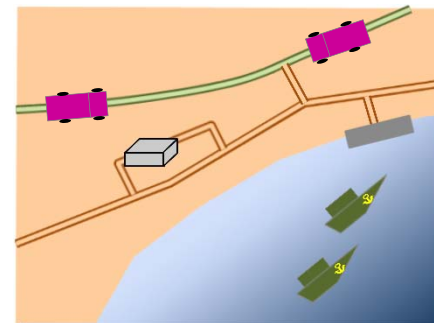


ステップ②の訓練内容

- 避難指示解除後に緊急排水着手
- ・計画で決定されている啓開航路の確認
- ・道路啓開・航路啓開の着手

訓練ステップ③の場面

- ・道路啓開・航路啓開完了



ステップ③の訓練内容

- ・人員・物資の移動・輸送に関する機関への情報提供

人員・物資の移動・輸送の実施

発災

南海トラフ巨大地震に係わる各機関の対策計画の共有

【目的】

- ✓ 広域かつ甚大な被害が予想される南海トラフ巨大地震に備え、中国地方の国と自治体、防災関係機関等が、緊急的に実施すべき主要な応急活動や甚大な被害軽減のための中・長期的な対策計画を共有し、連携体制の強化を図る。

【背景】

- ✓ 南海トラフ巨大地震に係わる対策計画を防災関係各機関で策定。
- ✓ 国土交通省が策定した「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画(第1版)」に基づいて、国土交通省の中国地方支分部局8機関が「中国ブロック版の地域対策計画(第1版)」を平成26年4月に策定。
- ✓ その後発生した熊本地震や北海道胆振東部地震時の対応を踏まえて「国土交通省南海トラフ巨大地震対策計画[第2版]」が改訂されており、これを受けて、国土交通省の中国地方支分部局8機関で令和3年度に「南海トラフ巨大地震対策中国ブロック地域対策計画(第2版)」の改定作業を行う。

【今後の予定】

- ✓ 令和3年度
 - ・各機関が策定する南海トラフ大地震に係わる対策計画の策定内容を共有
(例) 広島県地域防災計画(震災対策編:南海トラフ地震防災対策推進計画)
 - ・中国ブロック地域対策計画の改訂内容を情報提供

◆災害時における緊急物資輸送のあり方

- ・平成30年7月豪雨を受けて策定した「物資支援取組方針」に基づく取り組みの推進 等
(具体的には、取組の進捗状況の確認と検証を継続して行う)
- ・地方公共団体、交通運輸事業者、地方行政機関との緊密な連携関係の構築 等

◆災害時における旅客輸送・帰宅困難者対策のあり方

- ・「大規模な海上災害」「雪害」など災害時の情報提供等を含む旅客輸送の検討 等
- ・平成30年7月豪雨における旅客輸送の課題への取り組みの継続 等
(具体的には、「災害時における海上輸送対応に関する連絡会」等で、課題を深掘りし検討をおこなう)
- ・地方公共団体、交通運輸事業者、地方行政機関との緊密な連携関係の構築 等

全国で各地で頻発し、甚大な被害が発生している自然災害



北海道地震(平成30年)



7月豪雨 岡山県真備町(H30年)



8月下旬前線による大雨(令和元年)

